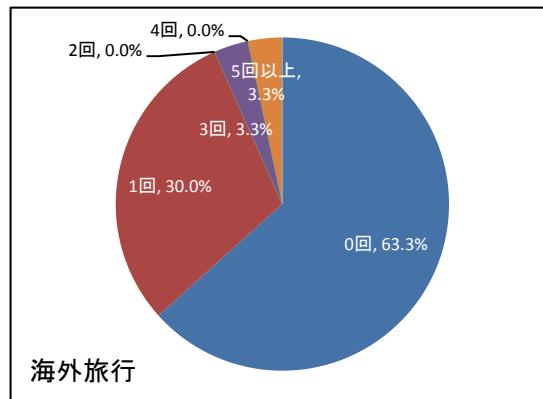
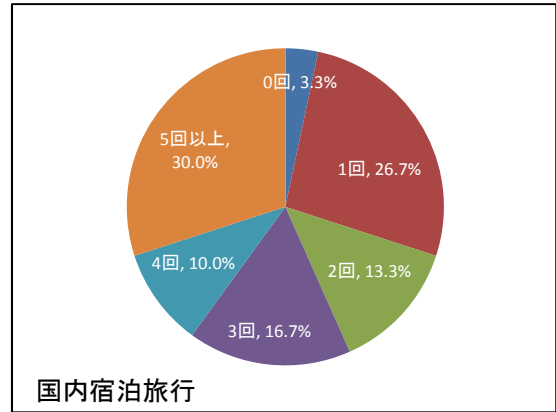
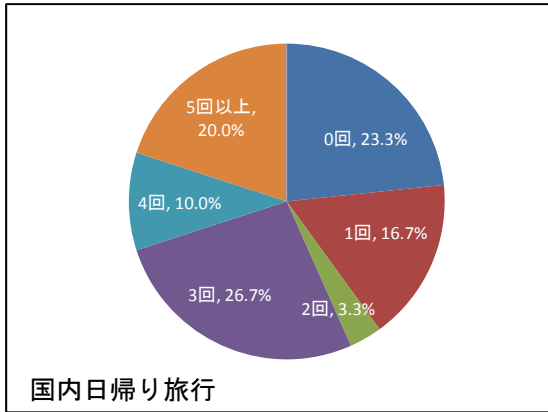


◆第11校目(千葉大学教育学部附属中学校)アンケート結果 概要

○事前アンケート

【授業を受けた生徒さんのアンケート結果】(n=30)

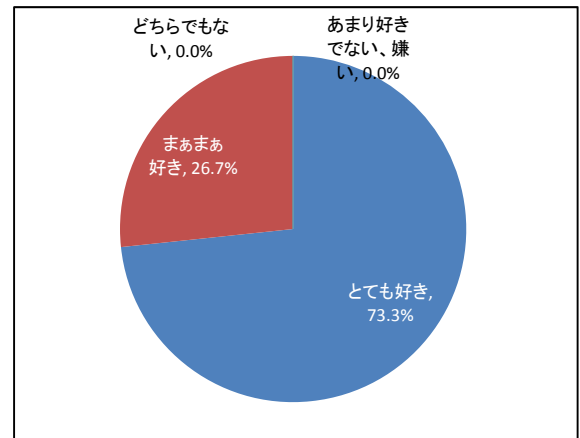
(1) あなたは、家族や友達との旅行(国内(日帰り・宿泊)・海外)を年に何回程度しますか。それぞれお答えください。



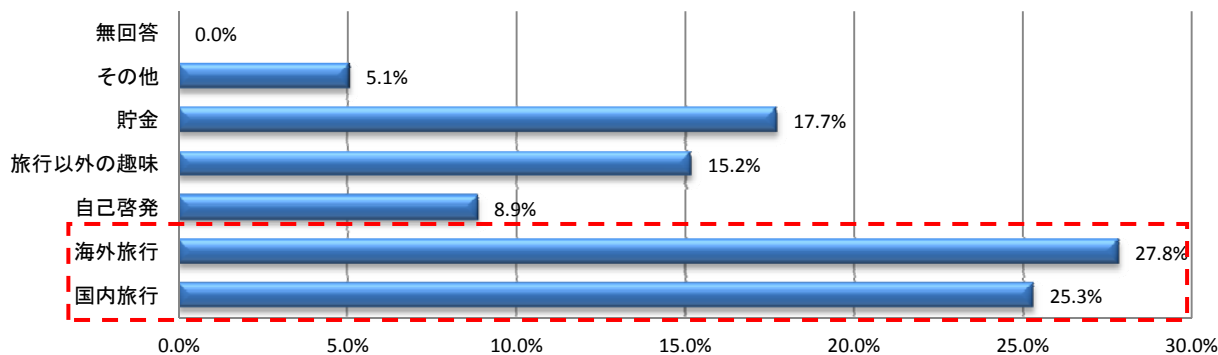
千葉大学教育学部附属中学校の生徒さんたちの旅行平均回数は、「国内日帰り旅行」が2.43回、「国内宿泊旅行」が2.93回、「海外旅行」が0.57回でした。

(2) 旅行(国内・海外)は好きですか。

73.3%の学生さんが「とても好き」、26.7%の学生さんが「まあまあ好き」と回答してくれました。



(3) 高校を卒業してから、お金と時間がある場合、何をしたいですか。【複数回答可】



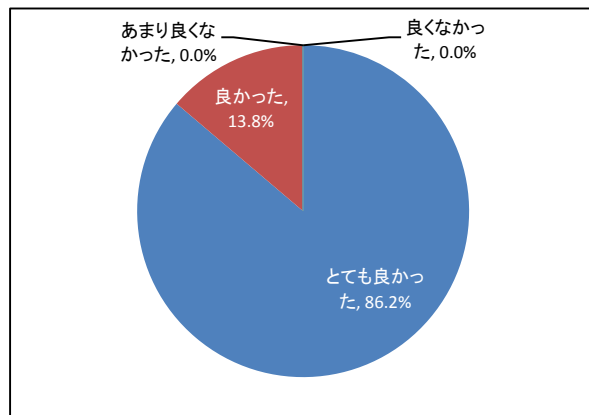
全体のうち27.8%の学生さんが「海外旅行」、また、全体のうち25.3%の学生さんが「国内旅行」と回答しており、旅行への強い関心が伺えました。海外旅行の具体的な内容としては、「アメリカやヨーロッパ等の代表的な観光地を訪れたい」という生徒さんや、「イギリスについて英語留学したい」という生徒さんもいました。

○事後アンケート

【授業を受けた学生さんのアンケート結果】(n=29)

(1) 今回の講演はいかがでしたか

100%の学生さんが「とても良かった」または「良かった」と回答してくれました。

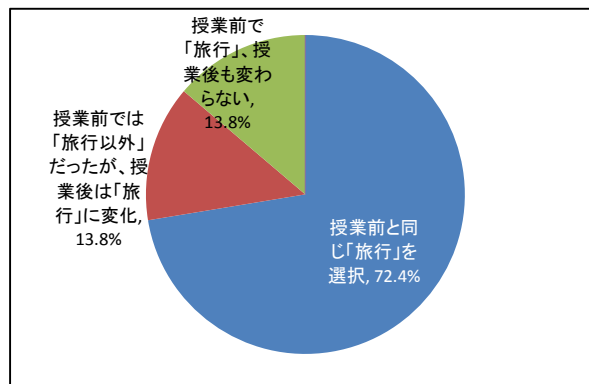


(2) 事前アンケートで質問をした、「お金と時間がある場合、何をしたいですか。」について回答は変わりましたか。

〔事前アンケートの選択回答項目:

「国内旅行」、「海外旅行」、「自己啓発」、「旅行以外の趣味」、「貯金」、「その他」〕

今回の「若旅★授業」を受けて、13.8%の生徒さんが「旅行(国内・海外)をしたい」に変化しました。



(3)－1 講演で特に印象的だったことを教えてください。

- 旅が好きになったきっかけのことや、色々な国の話を聞いて、旅の魅力が伝わりました。私も海外に行ってみたいと思いました。
- 世界を見ると日本はとても良い国だということが分かった。
- 大橋さんの経験から頂いた旅でのアドバイス。具体的には ①ハプニングにも柔軟な発想で対応すること ②「多様性のキャパシティ」を持つこと。
- 一昨日食べたものは覚えていないけれど、10年前の旅は覚えている、という言葉が印象的でした。

(3)－2 もしあれば、講演で聞いてみたかったことを教えて下さい。

- 治安の良い所と悪い所をすぐに判断するにはどこを見ればいいのかということ。
- 一番デリシャスだった料理。

(4)－1 グループワークで得た新たな発見を教えてください。

- 意外とターゲットを考えてプランニングするのが大変でした。
- 少し有名ではない所も計画に入れることで、もっと千葉県を知ることができた。
- 日帰りの旅でも、プランニングするのはとても難しいということ。また、中身の濃い旅をつくるには工夫が必要だということが分かりました。
- ターゲットの人たちにとって楽しめる旅とはどのようなものだろう、と考えていくのは難しかったけれど、色々な想像を膨らませて考え、パンフレットを作るのは楽しい！
- 旅を売りこむターゲットを細部まで想像することの大切さ。
- 多くの人を狙うのではなく、的を絞った方が利益を得られるという考え方を学んだ。情報から考察することを忘れないようにしたい。

(4)－2 もしあれば、グループワークでやってみたかったことを教えてください。

- 今回は千葉県内でターゲットも決められていたため、次は自由に決めてグループワークをしたい。

(5) あなただったら、どうやって旅に興味がない友人を旅行に誘いますか？

- その人が興味を持ちそうなものを中心的にアピールして誘う。
- 日本との相違点で面白いところを伝え、一緒に行けば大丈夫と安心させる。
- 旅の楽しさや、自分が考えているプランを教えてプランのいいところや魅力を伝える。旅行先の写真を見せて説明する。
- 友人の趣味と関係があったり、それを組み込んだ旅を提案する。